

2. 第2回未来の成人式を考えるアンケートの実施について | 概要

- 5～6月に行った成人式に関する1回目アンケートの追加調査として、2回目の調査を実施
- 1回目アンケートの設問において、成人式のあり方について「札幌市と市民が議論した結果」及び「アンケート結果」の両方を知りたいと回答した方が、全体の57.9%(N=557)※アンケートの回答率は18.6%
- これまでの検討のプロセスや、市民アンケートと市民会議の結果をご覧いただいたうえで、再度アンケートへの回答を依頼し、その結果も含めて成人式のあり方の検討や市民参加の仕組みづくりの検討にも活用する

1. 目的

- 成人式のあり方の検討に活用
 - 市民参加の仕組みづくりの検討に活用
- サイレント・マジョリティの掘り起こし(なぜアンケートに回答しようと思ったか、1回目アンケートに回答しなかった方はなぜ今回は回答しようと思ったかの要因を確認する)
 - 市民会議結果の周知と効果の検証(「市民会議結果」の情報の有無による回答内容の差を確認する)

2. 対象

5～6月に実施した1回目アンケートの19歳の調査対象者3,000人
※令和7年1月開催の成人式の対象者

3. 実施期間

12月下旬～1月上旬

※回答期限を成人式(令和7年1月12日)の前までに設定

4. 調査方法

- 下記のとおり、A群とB群に分けて調査票を郵送し、結果を踏まえた上で、調査票(紙)またはWEBフォームにより回答してもらう。
- 1回目アンケート調査の質問内容をベースとし、「1回目のアンケートに回答していない方が、なぜ今回のアンケートに回答しようと思ったか」の設問を追加し、1回目からの意識の変化を確認。
- 「回答するにあたり、市民会議結果またはアンケート結果が参考になったか」の設問を追加し、結果を周知することの効果を確認する。

